

浅間山産蝶類の異常型と雌雄型

日比野 米 昭

名古屋市西区替地町 27

Two aberrant forms and a gynandromorph of butterflies
found in Mt. Asama, Honshu, Japan

YONEAKI HIBINO

長野県浅間山にてスジボソヤマキチョウ、ミヤマモンキチョウの異常型、メスアカミドリシジミの雌雄型を得たので報告する。報文にさきだち種々御教示を賜った白水隆教授に深謝の意を表する。なお各個体はいずれも筆者が所蔵している。

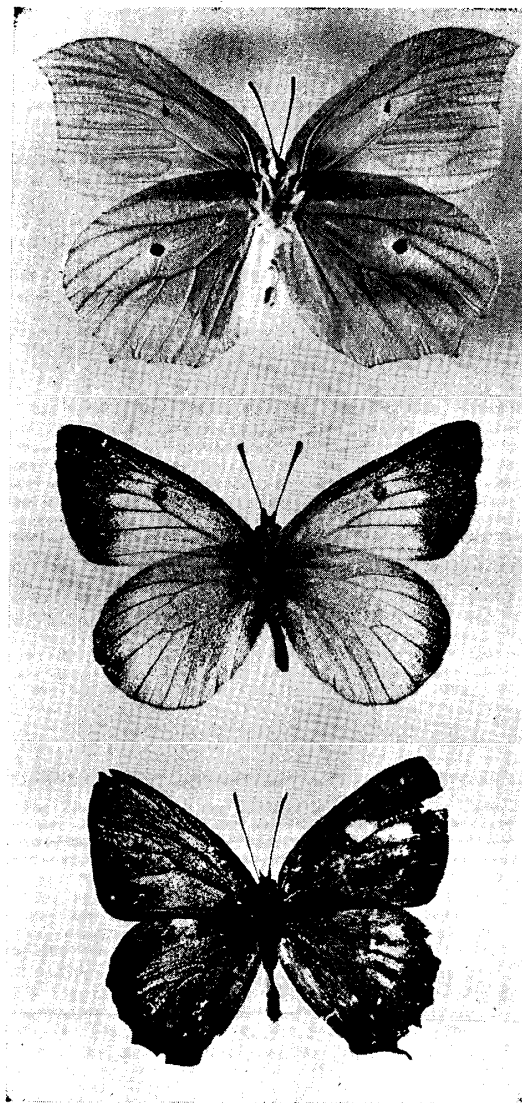
I. スジボソヤマキチョウ 異常型 ♂ *Gonepteryx mahaguru nipponica* VERITY, ab.

前翅裏面の第1～4室に長楕円形の異常斑紋を有する個体である。斑紋は第1b室および第2室、第3室、第4室にそれぞれ出現する。左右同様の形態であるが、第2室の長楕円形の斑紋は顕著であり、第4室の斑紋はとくに細長く、右前翅のものは左前翅のものよりやや大きい。また第2室および第3室の斑紋はとくに細長く、右前翅のものは左前翅のものよりやや大きい。また第2室および第3室の斑紋は中室側の輪廓が翅脈に沿った形となり円みを欠く。斑紋の色彩は淡褐色、その中心部は裏面の地色と同色を呈する。翅表では前翅に該異常斑紋が淡く透視されるほか、翅形、色彩、その他には異常は認められない。

採集地 山麓追分ガ原、採集日 1967年8月8日、前翅長 34 mm.

II. ミヤマモンキチョウ 異常型 ♀ *Colias palaeno aias* FRUHSTORFER, ab.

翅形、色彩に異常が認められ、正常型よりやや矮少な個体である。翅形は前翅が正常型より細長く、翅頂附近は円みを欠く。色彩は灰白色であるが、後翅はやや黄色味を帯びる。前翅外縁の黒色鱗の散布状態は正常型にみられるほど密でなく、したがって黒色帯の色彩はやや淡い。後翅の黒色帯は正常型に比べてその発達はきわめて弱い。裏面は色彩、斑紋に異常は認められない。なお当日該個体と同地点（石尊山鞍部の上方、標高約 1700 m）にて右前翅頂附近の黒色帯のなかに黄白色の小斑紋を有する2頭の♀を採集したが、いずれも当浅間山での分布下限に近い地点であり興味をおぼえる。



上：スジボソヤマキチョウ異常型
中：ミヤマモンキチョウ異常型
下：メスアカミドリシジミ雌雄型

採集地 石尊山鞍部の上方, 採集日 1966年7月28日, 前翅長 24 mm, 前翅最大巾 13 mm.

Ⅲ. メスアカミドリシジミ雌雄型 *Chrysozephyrus smaragdinus* BREMER, Gynandromorph.

右側♀性, 左側♂性の色彩斑紋を有する雌雄型である。雌雄型である以外表裏共, 色彩, 斑紋等に異常はない。なお写真において右側♀性後翅にみられる中室附近より外縁よりの4本の斜白条は鱗粉の脱落であって異常斑紋ではない。

採集地 不動滝, 採集日 1967年8月7日, 前翅長 右♀側 20.5 mm, 左♂側 21.0 mm, 腹部の外見は♂。

山口県でヒサマツミドリシジミを発見

佐々木 克己

山口県山口市石観音 72

ヒサマツミドリシジミ (*Chrysozephyrus hisamatsusanus* NAGAMI et ISHIGA) は, 中国地方では鳥取, 島根の両県で発見されていますが, 山口県内での発見は最初だと思われるので報告します。

1 ♀, 山口県玖珂郡錦町常国, 1968年7月21日。

採集者 佐々木研己(筆者の長男で山口市立大蔵中学3年生)

採集地は, 山口・広島の県境, 標高約 800メートルの高原で, クヌギ・ナラガシワのある低雑木林の高さ約 4~5メートルのクヌギの木をたたいて採集しました。附近一帯をさらに探索しましたが, この1頭より

ほかには発見できませんでした。今後は採集時期を考えてさらにくわしく調査してみたいと考えています。

なお, この付近で, クロミドリシジミ (*Favonius yuasai* SHIRÔZU) (1965年7月11日), ウラミスジシジミ (*Wagimo signata* f. *quercivora* STAUDINGER) (1965年7月11日) の2種を採集していますので御参考につけ加えておきます。

おわりにあたり, 同定などいろいろとご教示いただきました白水 隆, 藤岡知夫の両先生に謝意を表します。

文献 白水 隆 (1965) 日本の蝶 (北隆館)。

編集後記 印刷所の変更その他の事情で会誌の発行が遅れ, 編集者として申し訳なく思っておりますが, 次号の組版はすでにでき上っておりますので, 以後はスムーズに進行することになると思います。印刷所の変更によって会誌の体裁は従前よりはぐんと良くなりました。

編集上, 無駄な空白を出さないために短報の多いことが好都合です。印刷にして 1/3~2/3 頁程度の短報を多く投稿して下さいをお願いします。(編集者)

日本鱗翅学会会報 “蝶と蛾”

第19巻 第1・2号

日本鱗翅学会発行

本部 大阪市東区今橋3丁目18 緒方病院内 (〒541)

振替口座 京都15914番 電話大阪(231)3255代

編集者 白水 隆 (福岡市六本松4丁目
九大教養部生物学教室) (〒810)

印刷所 秀巧社印刷株式会社

1968年10月30日発行

TYŌ TO GA

(Trans. Lep. Soc. Jap.)

Vol. 19, No. 1 & 2

published by

The Lepidopterological Society of Japan
c/o OGATA HOSPITAL, Imabashi 3-18,
Higashiku, Osaka, Japan.

30 October 1968